



う し お たけし
(故) 牛 尾 武 氏

(本名 牛 尾 武 司)

生年月日 昭和 30 年 3 月 3 日生

住 所 田辺市稲成町

昭和 30 年 (1955 年) 3 月 3 日、神戸市で生まれる。

昭和 51 年 (1976 年) に神戸芸術学林日本画科を卒業し、神戸市在住の日本画家・昇 外義に師事、昭和 54 年 (1979 年) 兵庫県日本画連盟会員となる。昭和 59 年 (1984 年)、第 2 回上野の森美術館絵画大賞展に出品、翌昭和 60 年 (1985 年) の第 3 回同展において特別優秀賞を受賞する。続いて昭和 61 年 (1986 年) には東京セントラル美術館日本画大賞展、翌昭和 62 年 (1987 年) には日本画精鋭選抜展にそれぞれ作品を出品するなど精力的に制作活動に取り組む。

平成元年 (1989 年) には茨城県石岡市の華園寺本堂の障壁画を制作、平成 2 年 (1990 年) に銀座資生堂ギャラリーにおいて初めての個展を開催する。そして、平成 3 年 (1991 年) には第 11 回山種美術館賞展において優秀賞を受賞する。

一方、自分の描く自然をもっと身近に感じて、いつもその中で暮らし、絵を描きたいとの思いから、同年、制作の拠点を東京から田辺市に移し、「熊野」をテーマに紀伊半島の自然美や風景を描くなどの活動に取り組むとともに、成川美術館 (箱根・芦ノ湖) をはじめ、東京、大阪などでも度々個展を開催するなど精力的な活動を続け、平成 11 年 (1999 年) には高山寺 (田辺市) の薬師堂に初夏の護摩山を描いた障壁画を制作する。

平成 16 年 (2004 年) から、真言宗の開祖「空海」をテーマに、高野山や四国、京都、奈良、更には中国に至る「空海」ゆかりの地を訪ね歩き、空海が目にした風景に思いを馳せながら作品を描くなどの活動を続ける一方で、世界遺産熊野本宮館並びに南方熊楠顕彰館で開催された「残響の熊野」展では、人々の記憶の中にある田辺と熊野に光を当て、田辺の街並みや熊野古道の現在の風景を精緻な筆遣いで表現した。

創作活動に一意専心、数々の優れた作品を当地で描き中央へ発表し続けるなど、田辺市はもとより当地方の芸術・文化の振興に大きく貢献した。

(略 歴)

昭和 51 年 (1976 年) 神戸芸術学林日本画科卒業

第44回 (平成25年)

- 昭和54年(1979年) 兵庫県日本画家連盟展・最優秀賞受賞 同年上京する
- 昭和60年(1985年) 第3回上野の森美術館絵画大賞展で「澄秋」が特別優秀賞を受賞
- 昭和61年(1986年) 上野の森美術館絵画大賞展入賞作家展(東京・パリ)に「零春」を出品
- 平成元年(1989年) 華園寺(茨城県石岡市)の本堂障壁画を制作
- 平成2年(1990年) 銀座資生堂ギャラリーにて個展開催
- 平成3年(1991年) 第11回山種美術館賞展「今日の日本画」にて「晨響(銀河と流星の滝)」が優秀賞受賞
同年田辺市に移住
- 平成5年(1993年) 第12回山種美術館賞展に「濤聲」を招待出品
- 平成7年(1995年) 成川美術館にて個展開催
- 平成8年(1996年) 三越日本橋本店、同大阪店にて個展開催
- 平成11年(1999年) 成川美術館にて個展開催(2回目)
高山寺(田辺市)の薬師堂障壁画を制作
- 平成12年(2000年) 三越日本橋本店、大丸神戸店で個展開催
- 平成16年(2004年) 三越日本橋本店にて個展開催
成川美術館にて「空海と空と海」第一章 四国編を開催
- 平成19年(2007年) 成川美術館にて「空海と空と海」第二章 九州編を開催
- 平成21年(2009年) 成川美術館にて「空海と空と海」第三章 中国大陸編を開催
- 平成22年(2010年) 世界遺産熊野本宮館にて「残響の熊野」を開催
- 平成23年(2011年) 南方熊楠顕彰館にて「残響の熊野 Part II」を開催
- 平成25年(2013年) 成川美術館にて「空海と空と海」最終章 京都・奈良編を開催